

平成22年 第9回大分市教育委員会会議録

1. 日 時 平成22年10月7日(木)午後3時00分～午後4時13分

2. 場 所 大分市役所第2庁舎6階 教育委員室

3. 出席委員 一番委員 高橋 英子

二番委員 若杉 順子

三番委員 小林 達也

四番委員 角山 光邦

五番委員 足立 一馬

4. 出席事務局職員

教育部長 阿部 俊作 教育部教育監 原 一美

教育部次長 丸山 四郎 教育部次長 重石 浩

美術館館長 菅 章 次長兼学校施設課長 堀 美代子

次長兼生涯学習課長 佐々木 紀昭 次長兼文化財課長 玉永 光洋

教育総務課長 後藤 芳史 教育企画課長 澁谷 有郎

教育指導課長 江藤 郁 スポーツ・健康教育課長 秦 希明

人権・同和教育課長 藤澤 淳一 青少年課長 岩尾 亮

美術振興課長 安部 眞

5. 書記

教育総務課主幹 友 康彦 教育総務課主査 水田 寿憲

6. 傍聴人 なし

7. 議題

(1) 報告事項

- ・ 大分市学力向上ステップアップ事業について
- ・ 小中一貫教育校モデル校及び小中一貫教育推進校における公開研究発表会について
- ・ 竹中校区及び判田校区スクールバスの新コミュニティ交通実証実験事業への移行について
- ・ 大分市生涯学習推進計画について

- ・ 第2次大分市子どもの読書活動推進計画について
- ・ 大分市学校問題解決支援チームについて
- ・ 平成21年度「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」に基づく小・中学校における全国・大分県・大分市の比較について
- ・ 大分市美術館と武漢美術館との友好提携事業覚書の締結式について
- ・ 平成22年第3回市議会定例会における一般議案について
- ・ 平成22年度9月補正予算について
- ・ 平成21年度決算について
- ・ 平成22年第3回市議会定例会における質問・答弁事項について

8. 会議の概要

委員長 　　ただいまより、平成22年第9回大分市教育委員会を開会いたします。

（午後3時00分 開会）

委員長 　　会議に先立ち署名委員を3番委員、5番委員にお願いします。

　　本日は、審議する議案がありませんので、報告事項の説明を求めます。

教育指導課長 　報告事項1点目「大分市学力向上ステップアップ事業について」ご報告申し上げます。

　　今年度7、8月の夏季休業期間中に市内60校の全小学校の4、5年生の希望児童を対象に、算数科を中心に習熟の程度に応じた個別指導を1日2時間程度、5日間実施したところであり、本市全体では、4年生がのべ14,727名、5年生がのべ14,211名の参加があったところであります。

　　指導に当たりましては、1学期に学習した内容の問題集を全児童に配布し、担任だけでなく、他学年の教員や管理職も指導に参加するとともに、退職教職員や非常勤職員、保護者等からなる学習サポーター194名にも教職員の指導の補助や採点等、学習の支援をいただいたところです。

　　実施後の報告によりますと、つまずきの大きい児童ほど「参加してよかった」という声が大きく、つまずきの解消だけでなく、算数の苦手意識の克服や2学期の学習に対する興味・関心を高めるなど、多くの成果をあげることができたところです。

　　一方、児童の登下校の安全確保や教室内の気温が高くなるため、児童

の健康管理などに課題が見られたところです。

また、22校が4、5年生以外の学年でも補充学習を実施しております。

本市といたしましては、今年度の成果や課題を十分検証したうえで、来年度以降も本事業を実施してまいりたいと考えております。

以上でございます。

委員長 ご質問などありませんか。

委員 300日間というのは。

教育指導課長 60校で5日間行いましたので、300日ということでございます。

委員 各項目の「その他」について、内容を教えてほしい。

教育指導課長 I番の(1)「その他」につきましては、参加希望の文書を配布した、ということ。 (2)は、教師が作成した。

II番の(1)は、期日を早く保護者に知らせて家庭の日程を調整してもらった、夏休みの初めの5日間に行った等でございます。(2)は、プリントの進捗を見ながら補充プリントを作成した、県が作成したフォローアップシートを使って指導した。(3)は、夏休みの課題として個別に指導した、でございます。

委員 延べ参加児童数の計算については。

教育指導課長 4年生は、65%の児童が参加しまして、5年生は63%の児童が参加したということでございます。

委員 本当は出てきてほしい人が、残りの3割に入っていたりすることはないの。

教育指導課長 課題に記載しているとおりでございまして、学校の取組みに差がありましたので、来年度以降、この取組みにつきまして、学校と一緒に考えていきたいと思っております。

委員 市から県に、この取組みに対して意見が言えますか。

教育指導課長 前回の教育委員会で申し上げましたが、今まででも取り組んでいる学校がありましたが、今回県がこのような事業を出してきて、県の予算を有効に使えるということで、一緒に行いました。今のご意見を踏まえまして、大分市としましては、さらに学年を拡大したい、そのために出来る限り予算を確保してほしいと言っていきたい。また、この事業の優位性がわかりましたので、大分市独自でも行っていきたいと考えております。

委員長 保護者にも聞いたりしているのですか。

教育指導課長 校長会の方には、この報告や子ども達の反応等について客観的に捉えて指導してほしいと伝えておりますので、その中で保護者の意見も出てくると思います。

委員 今年初めて取り組んで、学校全体の組織力向上に繋がったのは非常に大きいことだと思います。しかし、学校によって取り組み状況が違っていること、来てほしい子どもが来ていないということは問題だと思います。

学校現場の大変さもわかりますが、やってよかったという声をもっと広げていってほしい。やったほうがいいなという雰囲気を作り出していくことが大切だと思います。

教育指導課長 おっしゃるとおり、みんなで子ども達を育てていこう、校長先生をリーダーとして取り組んでいきたい、と考えております。

委員長 他にご質問等ございませんか。

全委員 (なしとの声)

委員長 それでは、次の報告事項の説明を求めます。

教育指導課長 報告事項2点目「小中一貫教育校モデル校及び小中一貫教育推進校における公開研究発表会について」ご報告申し上げます。

まず、「1 実施期日」についてですが、11月10日の野津原中学校区に始まり、平成23年1月26日の吉野中学校区まで、ご覧のような日程で賀来小中学校と小中一貫教育推進校6中学校区の公開研究発表会が予定されております。

次に、「2 研究内容について」をご覧ください。1中複数小連携型の3中学校区、1中1小連携型の3中学校区、併設型の賀来小中学校のおおまかな研究内容を記載しております。なお、それぞれの型に各学校から原則1名ずつ参加するようにしております。

教育委員のみなさまにも、是非、この機会に小中一貫教育の様子をご覧になっていただきたいと思いますと考えておりますので、希望がございましたら教育総務課または教育指導課にご連絡ください。

以上でございます。

委員長 ご質問などありませんか。

全委員 (なしとの声)

委員長 それでは、次の報告事項の説明を求めます。

次長兼学校施設課長 報告事項3点目「竹中校区及び判田校区スクールバスの新
コミュニティ交通実証実験事業への移行について」ご報告申し上げます。

これまで、学校の統廃合等に伴い、竹中、判田、戸次の3校区で、スクー
ルバスを運行してまいりましたが、判田につきましては、今年度から対象とな
る子どもたちが、1世帯3人となったことから、保護者や地域の方の同意の下、
5月からタクシー協会に委託する形のスクールタクシーに変更しております。

このような中、竹中及び判田地区におきましては、今年度の10月から平成
24年3月末までの間、都市交通対策課が、ふれあいタクシーの更なる利便
性向上を図るため、新たなコミュニティ交通の実証実験を実施することとなり
ました。

この新コミュニティ交通は、日常生活における移動手段の確保だけでなく、
通学手段の機能をも併せ持ったもので、各地域で説明会や学校関係者との
協議を重ねる中で、小・中学校の実情に合わせた運行計画となっており、
スクールバスとしての機能も、十分に果たすものでございます。

また、通学便につきましては、地域住民の方との混乗となりますが、子ども
たちにとって、同乗者との触れ合いや、マナーを学ぶことができるなどの利点
もあり、利用できる対象者は対象地域に住所を有する人で、事前に申請し、
決定通知書と利用券の交付を受けた人に限定されるため、安全性も確保
できるものと考えております。

このようなことから、10月1日から、竹中・判田校区の児童生徒の通学手
段を、スクールバス・スクールタクシーから、新コミュニティ交通に移行いたした
ところでございます。

なお、戸次校区のスクールバスについてはこれまでどおりでございます。

以上でございます。

委員長 ご質問などありませんか。

全委員 (なしとの声)

委員長 それでは、次の報告事項の説明を求めます。

次長兼生涯学習課長 報告事項4点目「大分市生涯学習推進計画について」ご報告申し上げます。

平成15年10月に策定いたしました「大分市生涯学習推進計画」の目標年次が平成22年度までとなっておりますことから、社会の変化や市民ニーズが多様化する中、公民館業務が市民部へ補助執行されたことを踏まえ、生涯学習施策を総合的、計画的に推進していくために、新たに「大分市生涯学習推進計画」を策定することにいたしました。

計画の位置づけですが、「大分市総合計画」の個別計画である「大分市教育ビジョン」に基づく生涯学習にかかわる分野別計画といたします。

この計画につきましては、現在、社会教育委員会において協議いたしておりますが、来月の11月に開催します社会教育委員会で素案を作成し、11月の本委員会で素案を報告いたします。その後、12月15日から1か月間のパブリックコメントの実施を経て、社会教育委員会を開催し、平成23年3月までに策定いたしたいと考えております。

以上でございます。

委員長 ご質問などありませんか。

全委員 (なしとの声)

委員長 それでは、次の報告事項の説明を求めます。

次長兼生涯学習課長 報告事項5点目「第2次大分市子どもの読書活動推進計画について」ご報告申し上げます。

平成18年3月に策定いたしました「大分市子どもの読書活動推進計画」の目標年次が平成22年度までとなっておりますことから、これまでの計画における取組の成果と課題を踏まえ、新たに本市における子どもの読書活動を総合的かつ計画的に推進するために「第2次大分市子どもの読書活動推進計画」を策定することにいたしました。

この計画につきましては、外部の有識者等で構成されます「第2次子どもの読書活動推進計画策定委員会」及び庁内組織の「第2次大分市子どもの読書活動推進計画庁内策定委員会」を設置し、策定することにしてお

ります。

本日開催しております外部委員による「第2次子どもの読書活動推進計画策定委員会」において素案を作成することにしておりますので、次回の教育委員会にその素案を報告いたします。その後、11月15日から1か月間のパブリックコメントの実施を経て、第2次大分市子どもの読書活動推進計画策定委員会を開催し、平成23年3月までに策定いたしたいと考えております。

以上でございます。

委員長 ご質問などありませんか。

委員 学校教育の場での部分は含まれますか。

次長兼生涯学習課長 学校教育の読書タイム等の取り組みにつきましては、記載されるようにしております。

委員 図書館支援員の方の成果と課題とかも含まれますか。

次長兼生涯学習課長 第1次の計画には記載されておりましたが、今回は図書館支援員との連携等につきまして、含まれてくると思います。

委員長 他にご質問等ございませんか。

全委員 (なしとの声)

委員長 それでは、次の報告事項の説明を求めます。

青少年課長 報告事項6点目「大分市学校問題解決支援チームについて」ご報告申し上げます。

大分市学校問題解決支援チームは、平成20年4月に発足し、今年で3年目となります。月1回定例会を開催しておりますが、その構成メンバーは、専門委員として弁護士、医師、臨床心理士の3名、常任委員として、青少年課長を統括といたしまして、4課の課長、事務局員として校長OB、県警OB、青少年課主幹、指導主事の4名、計11名であります。

相談件数についてであります。平成20年度が55件、平成21年度が101件、平成22年度が8月末で41件となっております。

次に、支援スキームであります。学校からの相談をすべて定例会にかけるのではなく、事務局で対応可能な事案は事務局段階で対応を行い、専

門委員の指導助言が必要な事案を常任委員で絞込み、定例会にかけるようにしております。

最近、定例会で検討していただいた事例ですが、事例Ⅰは、休日、学校外で発生した児童同士のトラブルに関して、校長の対応が悪いと、再三、文書回答を求めてきたケースです。事例Ⅱは、授業中(クラブ活動)綿菓子作りをしているときに、教師の指示に従わず、ザラメを大量に入れた結果、熱せられたザラメが噴出し、顔面に火傷を負った事故で、60項目の質問書に対する回答を求めてきたケースであります。

その他では、学校に隣接する住人から、車庫の屋根が破損した。そばにゴルフボールが落ちていたから、子どもが遊んで投げたにちがいないから、学校が弁償しろというケース等があります。

以上でございます。

委員長 ご質問などありませんか。

委員 対応はうまくいって、機能してるのですか。

青少年課長 継続をしているケースもありますが、9割のケースについては解決しております。

教育長 解決までの期間は、どのくらいですか。

青少年課長 事案によりますが、2～3か月でございます。

委員 学校側も反省しなければならない場合もありますよね。

青少年課長 学校の対応が悪い場合もありますので、その場合は謝罪をしております。

内容につきましては、校長会や生徒指導の連絡会で、パネルディスカッションを行い、専門員の方々にパネラーになっていただいたり等、学校に可能な範囲で情報提供しております。

委員 これまでの事案の中で、保護者や先生が直接弁護士等に相談したケースはありますか。

青少年課長 学校長が担任を連れてきて、状況説明した上で、直接専門員の方々から法的な根拠や、医学的な対応について指導、助言をいただいたりしております。

定例会の半分くらいについては、担当者に出していただいて、直接助言等

をいただいております、専門員の方々もそれを望んでおります。

委員 専門員が直接ダメということはないの。

青少年課長 学校にそういう風に言ってくることもあります。

委員 緊急を要するときは、どのようにしていますか。

青少年課長 その場合は、私が直接伺って、指導・助言をいただいております。

委員 先日、新聞に県教委が(支援)チームを立ち上げたと載っていました。大分県内の市町村であるのは、大分市だけです。全国的にも珍しいです。市町村に(支援)チームがある場合は、そちらを優先しますとのこと。

委員 他の市町村は問題がないのですかね。

委員 県が作れば、県が対応しますから。

委員長 (支援)チームは機能していますよね。

委員長 他にご質問等ございませんか。

全委員 (なしとの声)

委員長 それでは、次の報告事項の説明を求めます。

青少年課長 報告事項7点目「平成21年度『児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査』に基づく小・中学校における全国・大分県・大分市の比較について」ご報告申し上げます。

平成21年度の調査結果の主な特徴といたしましては、暴力行為発生件数は、全国は、50,830件と過去最高となっており、大分県も234件と平成9年度以降最高となっておりますが、大分市は29件と昨年度より1件ですが減少しております。その背景には、2年ほど前から、市内の中学校でいわゆる荒れていると言われていた学校が落ち着いてきたことが要因として考えられます。

次に、いじめの認知件数についてでございますが、全国、大分県、大分市とも減少してきております。背景としては、平成17年度調査より、児童生徒がいじめと感じればいじめと認知するしたことによって、児童生徒にアンケートを実施し、いじめを受けたと答えた児童生徒数をそのまま認知件数としてあげたために、平成16年度調査に比較し、全国のいじめ把握件数が6倍の約12万5千件に増加しました。しかし、その後、アンケートを実施したあと、

その検証を教員が十分行うことで、認知件数が減少してきているととらえています。下に※印で書いていますが、大分県は千人あたりのいじめ認知件数は10.9と全国3位となっています。1位は熊本で30.1、九州全体を見ますと、福岡が1.2、佐賀が0.7、長崎が9.0、宮崎が1.1、鹿児島2.9、沖縄が1.9となっております。これだけのちがいができるのは、調査方法のちがいが一番大きいと思います。

不登校児童生徒数についてでございますが、全国、大分県、大分市とも減少しておりますが、背景としては、スクールカウンセラーの配置の拡大などの相談体制の整備が進んだことと、大分市においては子ども教育相談センターでの教育支援教室「フレンドリールーム」の活動の充実が考えられると思います。しかし、全国的な減少傾向の中で、大分市は、小学校の不登校児童が増加しております。不登校のきっかけとして、友だちとの人間関係のトラブルや対人関係や集団の中に入ることに對しての強い不安や緊張、母子分離不安等の親子関係をめぐる問題がきっかけとしてあげられており、小学校時代から社会性をどのように育成していくかが課題と考えています。

以上でございます。

委員長 ご質問などありませんか。

全委員 (なしとの声)

委員長 それでは、次の報告事項の説明を求めます。

美術振興課長 報告事項8点目「大分市美術館と武漢美術館との友好提携事業覚書の締結式について」ご報告申し上げます。

平成21年10月に大分市長と武漢市長の間で調印された「2010年度日本国大分市中国武漢市との友好交流協議書」に基づき、大分市美術館と武漢美術館との友好提携事業を新たに実施し、両市間の文化芸術分野における交流促進及び、市民レベルでの相互理解に努める為、平成22年11月16日に、大分市美術館において、大分市美術館と武漢美術館との友好提携事業覚書の締結式を行います。

今後の活動内容としましては、両館の活動状況や両国の美術動向に関する情報の交換や、学芸員の調査研究などで、職員の相互交流を図ると

もに、それぞれの地元作家・民間美術団体などの交流を支援し、その成果として、收藏品や地元作家などを紹介する展覧会を相互に開催できるよう、交流を継続して参りたいと考えております。

以上でございます。

委員長 ご質問などありませんか。

全委員 (なしとの声)

委員長 それでは、次の報告事項の説明を求めます。

教育総務課長 これ以降4点につきましては、先月開催されました第3回市議会定例会に関する事項について、ご報告申し上げます。

まず、報告事項9点目「平成22年第3回市議会定例会における一般議案について」ご報告申し上げます。

教育委員会関係の議案は、「大分市立幼稚園条例の一部改正について」及び「大分市坂ノ市小学校給食調理場厨房備品の購入について」の2件でございます。

内容につきましては、前回の本委員会でご説明し、ご決定をいただいたものでございまして、原案どおり可決し、成立いたしましたことを、ご報告申し上げます。

次に、報告事項10点目「平成22年度9月補正予算について」ご報告申し上げます。

本年度の教育費の補正前の予算額は、174億5,741万円でしたが、9月補正額は、42万5千円の増額で、補正後の額は174億5,783万5千円となっております。

内容につきましては、前回の本委員会におきまして、ご説明し、ご決定いただいたとおりでございます。

補正予算案は、市全体として原案どおり可決され、成立いたしましたことを、ご報告申し上げます。

次に、報告事項11点目「平成21年度決算について」ご報告申し上げます。

前回の本委員会におきましてご説明し、ご承認をいただきました、教育費

の決算につきましては、9月開催の第3回市議会定例会に市長より大分市全体の歳入歳出決算の市議会の認定を求めるために上程をいたしまして、市議会は決算審査特別委員会に付託いたしました。

決算審査特別委員会につきましては、今年度より分科会方式が導入され、9月27日に教育委員会所管分の決算概要の説明と質疑を経たのち、今月1日の市議会閉会日におきまして、原案どおり認定されましたことをご報告いたします。

内容につきましては、前回の本委員会におきまして、ご説明し、ご承認いただいたとおりでございます。

以上でございます。

教育部長 続きまして、報告事項12点目「平成22年第3回市議会定例会における質問・答弁事項について」ご報告申し上げます。

(資料に基づき、概要について説明)

以上でございます。

委員長 ご質問などありませんか。

委員 4点ほどあります。

トイレの改修の件ですが、「縦1系列」というのは、どういうものですか。

次長兼学校施設課長 トイレが、だいたい階の同じ場所にあつて、それが原因で排水管から悪臭が漂ったりしますので、1階から4階までまとめて改修するというものです。

委員 2つ目は、人事評価制度の見直しについてですが、目的としては教員の技量を上げたいということでしょうか、それとも上の方の人を優遇してあげたいということでしょうか。

教育指導課長 県教委が策定しました人事評価実施手引きによりますと、「教職員の能力、実績、意欲を的確に把握・評価し、評価結果については、適材・適所の人事配置や管理職の登用を進めるための人事本資料としての活用するとともに、給与上の処遇等幅広く活用すること」を目的としております。

委員 具体的には、各学校現場で困っていると思います。「一律の分布制限率を適用することに難しさがあるなどの課題があると考えている。」と答弁されて

いますが、その課題を解消し、適正な評価に向かっていこうとしているのがわかりにくいのですが。

教育部長　この評価制度自体は、県が作っておりますので、県と協議しながら進めていきたいと考えております。

委員　市からも県に意見を伝えていくということですね。

教育部長　ご意見については、出来る限り伝えていきたいと考えております。

委員　3点目は、給食の件です。センター(共同調理場)になると、地産・地消と
いいながら、その地域で取れたものを、地域の人と交流しながら食べることが
難しいのでは。食育の面からと、地域との繋がりをどのようにしていくのでし
ょうか。

スポーツ・健康教育課長　食育の面や、地域との交流につきましては、共同調理場
あるからといって難しくなっているわけではなく、むしろ積極的に行っているところ
でございます。

委員　最後に、『子どもの「問いかけ」への関わりについて』とは、どういう意味です
か。

教育指導課長　子どもは幼いときから、「なぜ」「どうして」という疑問を持ちます。そう
いった時に、学校だけではなくて、いろいろなところで大人が関わりあうことが必要
なのではないか。そういった「問いかけ」に、みんなが応えましょうよ、ということ
でございます。

委員　生涯学習などに、入れていってほしいですね。

委員長　他にご質問等ございませんか。

全委員　なしとの声

委員長　他に何かありませんか。

教育指導課長　「文部科学省研究開発学校指定研究報告発表会のご案内」につ
いて(お知らせ)

委員長　他に何かありませんか。

美術振興課長　「宮崎県立美術館コレクションによる『シュルレアリスム－不条理と幻想
の芸術世界』」について(お知らせ)

委員長　他に何かありませんか。

教育総務課長 次回の教育委員会及び11月の教育委員会の日程につきまして調整をお願いいたします。

次回10月の教育委員会は、10月28日(木)午後3時00分～でお願いいたします。

11月の教育委員会は、11月24日(水)午前10時00分～でお願いいたします。また、市長との意見交換会を10月25日(月)に予定しております。17時30分から「大分センチュリーホテル」で行いますので、よろしくお願いいたします。

11月2日(火)には、教育行政総合視察も予定しておりますので、併せてよろしくお願いいたします。

なお、本日の会議終了後は、連絡事項等ございますので、お時間をいただきたくお願い申し上げます。

以上でございます。

委員長 ご質問などありませんか。

全委員 (なしとの声)

委員長 他に何かありませんか。

全委員 (なしとの声)

委員長 これをもちまして、本日の会議を閉会いたします。

(午後4時13分 閉会)